

「新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン」外部評価委員用 評価シート

送付した評価用資料および九州がんプロホームページ（<http://www.k-ganpro.com/>）等をご覧になった上で、以下の評価シートに記入ください。このシートの内容は、評価委員の氏名を明らかにした形で、評価用資料とともにホームページ等にて公表する予定であることを予めご了承ください。

| | |
|-----------|------|
| 外部評価委員 氏名 | 南 博信 |
|-----------|------|

1. 今年度における九州がんプロの取り組み評価

下記3つの欄に、a（優れている）～e（劣っている）の選択肢を記入いただき、つづけて「コメント欄」に評価の具体的な内容を記入ください。

| | |
|---|---|
| [選択肢] a:優れている / b:やや優れている / c:普通 / d:やや劣っている e:劣っている | |
| 総合評価 | b |
| 達成目標1：九州内の多様な新ニーズに対応するがん専門医療人を養成する。 | c |
| 達成目標2：ライフステージに応じたがん対策を推進する多職種人材養成を行う。 | b |
| 達成目標3：ゲノム医療や小児・希少がんに対する海外の先進事例を積極的に収集し発信することで本プランのみならず我が国におけるがん専門医療人の養成に寄与する。 | b |

| |
|---|
| コメント欄（上記評価の理由、評価できる点、来年度に向けて改善すべき点など） |
| <p>1. 学生数 大学間で差が大きい、プロジェクト全体としては学生数を確保できている点は評価できる。しかし医師のコースの学生がゼロの大学が複数ある上、すべてのコースで学生を確保できていない大学もあり、早急な対策が必要と思われる。がんに特化した講座が新設された2大学で医師のコースに学生を確保できていることを考えると、個々の大学の事情もあることは理解できるが、本プロジェクトとしてがんに特化した講座を新設するよう各大学に働きかける必要もある。いずれにしても、すべての大学のすべてのコースに学生が入学するようプロジェクト全体で取り組むべきである。</p> <p>2. 専門医資格 多くの学生が専門医の資格を取得しているが、ほとんどが本プロジェクトとは関係なく取得できる基本的資格である。本来、本プロジェクトが目的としているがん薬物療法専門医、放射線治療専門医の取得者がいないのは大きな問題であり、対策が求められる。</p> <p>3. ライフステージに応じたがん対策を推進する人材育成 ライフステージに応じたがん対策を推進する多職種人材養成を行うことを目標にかかげ、小児血液や小児がんを念頭に置いた大学院コースを開設したことは高く評価できるが、医師向けのコースが主体であり、看護師や薬剤師など多職種の人材育成がどのように進んでいるのかが明確でない。医師のコースも学生数が少ないようだが、コースを開設したことにより血液・腫瘍を目指す小児科医が増えたのか、今までの人数との比較も将来はお願いしたい。</p> <p>4. ゲノム医療 医療現場ではゲノム医療に関しての情報の要求が高く、多くのセミナー等を開催している点は評価できる。外部講師を招聘しセミナー等を頻回に開催していることが、人材育成や体制整備にどの程度つながっているのか、今後明らかにして欲しい。がんゲノム医療中核拠点病院としても人材育成は求められており、その活動との違いを明確にすることが求められる。</p> |

5. その他

多くのインテンシブコースを開催している点は評価できる。単なる座学だけなのか、どの位の講義を行っているのか、その内容が報告書からは十分見えない。多くの研究業績を上げている大学もあるが、その内容は本プロジェクトがなくてもあげられる業績が多いように思われ、本プロジェクトによりどの程度研究成果があがっているのか分かるようにしてほしい。

2. 各大学の取り組みに対する評価

次年度以降における事業改善の参考とするため、各大学へ個別にコメントを記入ください。

| コメント欄（評価できる点、来年度に向けて改善すべき点など） | |
|-------------------------------|--|
| 九州大学 | 主幹校として中心的役割を果たしている。薬剤師以外のコースで学生も確保し、先端医用量子線技術科学コースを中心として多くの研究業績もあげている。本プロジェクトによりがん薬物療法専門医や放射線治療専門医の取得が求められる。 |
| 福岡大学 | 人手不足の中、学生も確保して努力しているようである。大学として教員を増やすなどの配慮も欲しい。 |
| 久留米大学 | 医師のコースの大学院生がいないが、学生を確保するための活動が見えない。人材育成の体制整備が求められる。 |
| 佐賀大学 | 学生が確保できていないコースがある。がん薬物療法専門医が2名在籍しているとのことであるが、大学病院としても拠点病院としても2名では圧倒的に足りない。大学全体として早急に人材育成の体制整備が求められる。 |
| 長崎大学 | 目標を上回る学生を確保しているコースもあり評価できる。専門医の育成によりさらなる教育体制整備につなげることを期待したい。 |
| 熊本大学 | 多くの学生を確保していることは評価できるが、主として専門医は外科系が中心で、腫瘍内科、放射線腫瘍科としての人材育成がみえない。早急な対応が求められる。 |
| 大分大学 | 目標を大きく上回る学生を受け入れたことは評価できるが、専門医の資格取得者がいない。今後の人材育成に期待したい。 |
| 宮崎大学 | 医師・看護師ともに大学院コースに学生が確保できていない。がん医療を担う中核病院および大学全体としてがん医療に携わる人材育成の体制を整備してほしい。 |
| 鹿児島大学 | 専門医の資格取得者がいない。今年度は学生は確保しているので、今後を期待したい。 |
| 琉球大学 | 来年度は学生が確保できる見込みとのことであるが、今年度は医師の大学院コースに学生がいないし、専門医の資格取得もない。勧誘だけでは学生確保は困難で、がんの診療および教育体制の整備が求められる。 |

「新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン」外部評価委員用 評価シート

送付した評価用資料および九州がんプロホームページ（<http://www.k-ganpro.com/>）等をご覧になった上で、以下の評価シートに記入ください。このシートの内容は、評価委員の氏名を明らかにした形で、評価用資料とともにホームページ等にて公表する予定であることを予めご了承ください。

| | |
|-----------|-------|
| 外部評価委員 氏名 | 千堂 年昭 |
|-----------|-------|

1. 今年度における九州がんプロの取り組み評価

下記3つの欄に、a（優れている）～e（劣っている）の選択肢を記入いただき、つづけて「コメント欄」に評価の具体的な内容を記入ください。

| [選択肢] a:優れている / b:やや優れている / c:普通 / d:やや劣っている e:劣っている | |
|---|---|
| 総合評価 | b |
| 達成目標1：九州内の多様な新ニーズに対応するがん専門医療人を養成する。 | c |
| 達成目標2：ライフステージに応じたがん対策を推進する多職種人材養成を行う。 | b |
| 達成目標3：ゲノム医療や小児・希少がんに対する海外の先進事例を積極的に収集し発信することで本プランのみならず我が国におけるがん専門医療人の養成に寄与する。 | b |

| コメント欄（上記評価の理由、評価できる点、来年度に向けて改善すべき点など） |
|--|
| <p>広範なエリアにわたる九州地区において目標達成のために、3つのエリアの拠点校と全体を総括する九州大学の元に事業の推進体制が整備されている。これは10年に及ぶエリア単位での活動が活発化していること、各大学コーディネータの強力なイニシアチブのもと、他大学との積極的な事業連携を実施してきた成果である。中でも統括部門である「事業運営推進協議会」も本格始動しており、活動の成果を目に見える形で情報発信されていることは評価できる。さらに大学から地域に根ざした教育活動（市民公開講座等）も興味深いテーマで好評である。海外先進事例の収集を目的とした国際間の交流も定期的実施されており、参加者の満足度は高いと思われる。今後、大学間の教育活動の均てん化に向けた更なる取り組みを期待したい。</p> <p>達成目標1： がん医療の新たな新ニーズに対応できる優れた人材を養成する体系的な教育プログラムを始動していることが伺える。現時点ではエリア間で格差が見られるが、テレビ会議システムの有効活用により大学間で顔の見える形での交流・情報共有が望まれる。今回設置された「eラーニング支援室」を中心とした教育コンテンツは新ニーズに対応して作成されており、その教育成果は大いに期待できる。長崎大学と鹿児島大学の継続的事业である「僻地・離島医療専門医療人養成コース」は大学の個別の取り組みに留まらず各拠点全体に広げて欲しい。</p> <p>達成目標2： ライフステージ領域に関する充実した教育プログラムの構築が順調に開始されている。今後の事業推進の準備はほぼ達成できていると思われる。各拠点で多職種が集える参加型講習会は有意義であるため、定期的な開催をお願いしたい。</p> <p>達成目標3： ゲノム医療や小児・希少がんに対する事業は各大学とも積極的に推進している。今後、がんゲノム医療中核拠点病院を中心として国内外からの収集データを一元的に管理する部門が今後望まれる。</p> |

2. 各大学の取り組みに対する評価

次年度以降における事業改善の参考とするため、各大学へ個別にコメントを記入ください。

| コメント欄（評価できる点、来年度に向けて改善すべき点など） | |
|-------------------------------|---|
| 九州大学 | 「九州がんプロ事務局」として全体の統括ならびに北部エリアの拠点としての役割を十分に果たしている。新ニーズ「がんゲノム医療」「小児・AYA・希少がん」「ライフステージに応じたがん医療」の教育カリキュラムについて、今後、他養成プランとの連携を密にして質の維持に努めて欲しい。 |
| 福岡大学 | 多職種参加の講演会、地域の開業医を対象とした企画等、工夫が見られる。北部エリア内での教育コンテンツを活用してニーズに応じた情報発信を期待したい。 |
| 久留米大学 | 事業活動の一環として「久留米ネットワーク」が運営され、教育的成果をあげていることは評価できる。引き続き北部エリア内での連携を通して教育プログラムの充実を目指して欲しい。 |
| 佐賀大学 | 達成目標1, 2, 3に向けてセミナー開催等、積極的に企画・広報活動を推進していることが伺える。引き続き大学の特性に応じた事業を推進して欲しい。 |
| 長崎大学 | 「ゲノム診療センター、がんゲノム医療部門」の設置に伴い、本領域のプログラムが充実している。多職種を対象とした研修会を通してチーム医療の重要性を学べる企画も評価できる。 |
| 熊本大学 | 大学院コース受け入れの目標達成とがんプロ専用Webサイトを通じた広報活動によりセミナーへの参加人数を達成できていることは評価できる。今後、達成目標2, 3におけるインテンシブコースの充実を期待したい。 |
| 大分大学 | 「ゲノム医療研究者養成コース」での人材育成で成果が上がっている。今後、多職種連携を目標としたセミナー、研修会の企画もお願いしたい。 |
| 宮崎大学 | がん看護関連の教育プログラムが充実している。高齢化率の高い地域という特性から今後ともライフステージに焦点をあてた多職種人材育成のプログラムの充実を期待したい。 |
| 鹿児島大学 | 達成目標1, 2, 3に向けて順調に進捗している。今後、エリア拠点としてさらなる連携強化を進めて欲しい。 |
| 琉球大学 | 「九州がんプロ全体研修会」では地域の特性を活かしたプログラムで特筆できる。がん看護では成果がでており、今後、医師の大学院コースに向けたプログラムの充実を期待したい。 |

「新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン」外部評価委員用 評価シート

送付した評価用資料および九州がんプロホームページ（<http://www.k-ganpro.com/>）等をご覧になった上で、以下の評価シートに記入ください。このシートの内容は、評価委員の氏名を明らかにした形で、評価用資料とともにホームページ等にて公表する予定であることを予めご了承ください。

| | |
|-----------|-------|
| 外部評価委員 氏名 | 眞嶋 朋子 |
|-----------|-------|

1. 今年度における九州がんプロの取り組み評価

下記3つの欄に、a（優れている）～e（劣っている）の選択肢を記入いただき、つづけて「コメント欄」に評価の具体的な内容を記入ください。

| | |
|---|---|
| [選択肢] a:優れている / b:やや優れている / c:普通 / d:やや劣っている e:劣っている | |
| 総合評価 | b |
| 達成目標1：九州内の多様な新ニーズに対応するがん専門医療人を養成する。 | a |
| 達成目標2：ライフステージに応じたがん対策を推進する多職種人材養成を行う。 | b |
| 達成目標3：ゲノム医療や小児・希少がんに対する海外の先進事例を積極的に収集し発信することで本プランのみならず我が国におけるがん専門医療人の養成に寄与する。 | b |

| |
|--|
| コメント欄（上記評価の理由、評価できる点、来年度に向けて改善すべき点など） |
| <p>評価できる点について</p> <ul style="list-style-type: none"> 九州内の大学が、目標の中の課題を連携、分担し、e-learning、講演会などを通じ、幅広い職種に向かって情報発信をされていることは大変素晴らしいと思います。また、市民公開講座において、アートを取り入れたユニークな取り組みが紹介され、九州がんプロのユニークな取り組みとなっていると思います。 がんプロの教育効果が、専門資格の取得者が増えてきていることも示されています。 沖縄における合同研修会において、九州がんプロ参加大学から、複数の参加者があったこともよい取り組みだと思います。中でも講演の中のアンコンシャス・バイアスへの気づきのように、価値観や倫理観につながる学習が加わっていることはユニークであり、男女共同参画の視点が加えられ素晴らしいと思いました。 <p>来年度に向けての改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで以上に各大学間の連携を強めていただけたらと思います。 医学部学生のみならず、さらに多職種での議論の機会を増やすよう取り組んでいただきたいと思います。 視察などに行かれるときは、職種のバランスを考え、1職種に限らないような、参加者の構成をしていただきたいと思います。専門性の高い議論とともに、それを現実にもどのように患者・家族、医療全体に波及させていくかを考えるには、複数職種の議論が必要なのではないかと思います。 |

2. 各大学の取り組みに対する評価

次年度以降における事業改善の参考とするため、各大学へ個別にコメントを記入ください。

| コメント欄（評価できる点、来年度に向けて改善すべき点など） | |
|-------------------------------|--|
| 九州大学 | 九州がんプロ大学の効果的な連携に対して、努力されていることが評価できます。在籍者数、がん薬物療法専門医の合格への支援、など他の大学をリードした実績が示されていると思います。ゲノムの講習会に対する参加者数も多く、この領域において、関心の高さがうかがわれます。多様な取り組みを精力的に行われている中で、専門職連携の内容が少し少ないように思われました。 |
| 福岡大学 | 自施設だけでなく、九州がんセンターとの共同、福岡市西部地区医師会との協力などを通じて、研修の参加者の学習へのモチベーションが向上したことについては評価できます。参加者が計画的に参加できるよう早期の研修会等周知できるとよいのではないのでしょうか。 |
| 久留米大学 | がん看護専門看護師コースが設置され、多くの課題がある中、CNS38単位に取り組み、プログラムの準備ができていないことについては、評価できます。学生の実践力向上の前のレディネスが様々であることから、入学前に、補完的な学習（例：学士課程レベル）を実施していくことも必要かと思えます。また、実践力を高める上で、臨地実習は不可欠ですが、高度な実践の前に学生の自信を高めるためにも、アセスメントに必要な知識の位置づけ、事例報告をまとめるための方法について積み重ね学習が必要ではないかと思えます。 |
| 佐賀大学 | 学外からの講師を招聘されてのがんプロセミナーは良い取り組みだと思います。今後はセミナー等が学習者にどのような効果を与えたのか、セミナーの目的や評価を明確にしていくことが必要になるのではないかと思います。 |
| 長崎大学 | 目標2において大学院生がチーム医療、多職種連携の重要性を学習されたことは素晴らしいと思います。大学院生の背景が記述されていないので、1職種の大学院生なのではないかと思われました。複数の職種の人々との実地での連携実践の体験が重要になるのではないかと思います。多職種の大学院生または医療専門職の方との連携の機会を作っていただけたらと思います。大学院生がエキスパートパネルやキャンサーボードに参加できるよう、テレビ会議システムを使用されたことについてもよい取り組みだと思います。 |
| 熊本大学 | 専門医の資格取得を促進されている、シンポジウム、セミナーに多くの参加者があったことについて評価できます。薬剤師や薬学部生を中心にインテンシブコースを設定しているので、今後は参加数を増やしてすすめていただけたらと思います。多様なニーズに対応する多職種の医療人との連携課題についてさらに取り組んでいただきたいと思います。 |
| 大分大学 | 教育コース、シンポジウム等を開催され、実績をあげられていると思います。次年度以降は、参加人数だけでなく、参加者がどのような内容を学習したのか、評価をなさっていただくと、参加人数のみならず、提供された内容が効果的なものであったかどうか明確になってくるのではないかと思います。 |
| 宮崎大学 | 多様なニーズに対応するがん専門職医療人を養成すること、多職種人材の養成の目標が具体的に達成でき、特にがん看護領域の専門職に対する教育の強化が図られ特徴ある取り組みができています。ゲノム医療についての幅広い知識を提供できるように工夫されていると思います。海外の先進事例についても講演会を行っていることも目標が達成されたと思います。今後は大学院コースでの受け入れを進めていただきたいと思います。 |
| 鹿児島大学 | 3つの目標に対して、講習会やカンファレンスを行い、ゲノム、AYAなど新しい知見を大学院生、教員に対して提供されたことについては良い取り組みだと思います。波及効果が限定していることが気になります。より大学院生、多職種に知識の提供が進められるような取り組みを次年度行っていただけたらと思います。 |
| 琉球大学 | 看護人材養成に力を入れて、セミナー等についても開催され、参加人数も多く良い取り組みだと思います。また九州がんプロ全体研修会の取り組みも文化的価値の高い講演等も含んでおられ、多様な新ニーズに対応するがん医療人の養成に貢献する内容になっていると思います。今後は医師のリクルートに力を入れると同時に、他の九州がんプロ大学の医学部生との共同学習などが計画に入れられるとよいと思います。 |